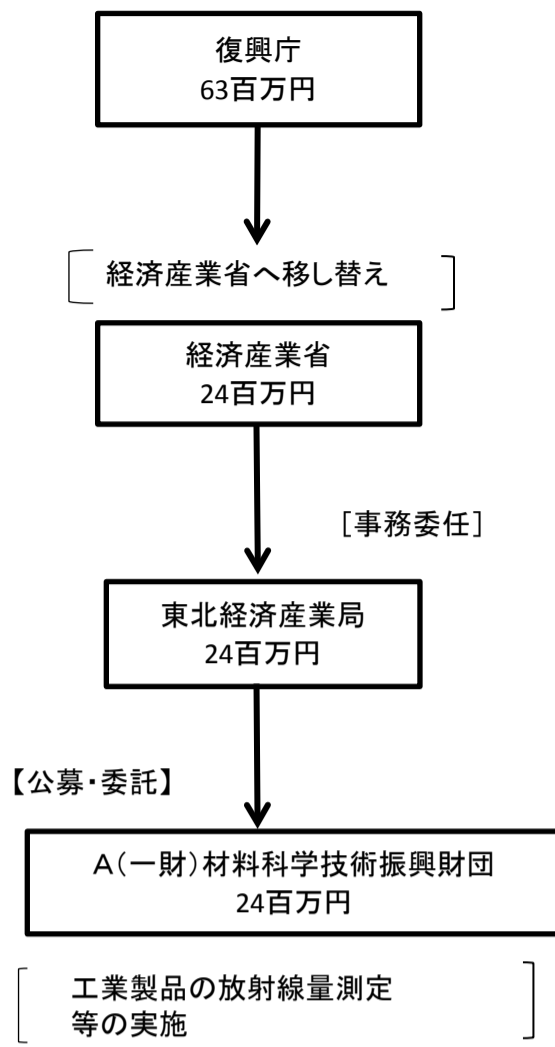


平成27年度行政事業レビューシート (復興庁)

事業名	放射線量測定指導・助言事業			担当部局庁	復興庁	作成責任者		
事業開始年度	平成24年度	事業終了 (予定)年度	終了年度未定	担当課室	統括官付参事官(予算・会計担当)	参事官 小瀬 達之		
会計区分	東日本大震災復興特別会計			政策・施策名	政策：復興施策の推進 施策：東日本大震災からの復興に係る施策の推進			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)				関係する計画、 通知等				
主要政策・施策				主要経費	その他の事項経費			
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	今後、避難指示区域等の見直しにより被災企業の事業再開や企業立地の進展が見込まれることから、工業製品等の風評被害対策として、工業製品等の放射線量測定等に関する指導・助言を行う専門家チームを派遣する事業を実施する。							
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	福島県を中心とした企業等からの要請に応じて、専門家チームを派遣するとともに、福島県内の事務所において、工業製品等の放射線量測定等に係る指導・助言を行う。また、いまだ風評が残る業界やユーザーに、工業製品の放射線に対する正しい理解を深めるための情報提供等を行う。							
実施方法	委託・請負							
予算額・ 執行額 (単位：百万円)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	-	63	63	40		
		補正予算	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-		
	計		0	63	63	40	0	
	執行額		-	25	24			
執行率 (%)		-	40%	38%				
成果目標及び成 果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 年度
	利用事業者のうち、測定指 導・助言事業に対する満足 度の割合が7割以上	利用事業者のうち、測定指 導・助言事業に対する満足 度の割合	成果実績	件	-	98	57	
			目標値	件	-	70	70	-
			達成度	%	-	140%	81%	
活動指標及び活 動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込
	相談対応件数	活動実績	件	197	144	114		
		当初見込み	件	400	400	300	300	
単位当たり コスト	算出根拠			単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込
	執行額/相談対応件数		単位当たり コスト	円/件	212,894	176,255	212,595	
			計算式	円/件	41,940,125/197	2,538,0690/144	24235908/114	
平成27・28 年度予算内訳 (単位：百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	人件費	14						
	事業費	20						
	一般管理費等	6						
	計	40	0					

事業所管部局による点検・改善					
	項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	福島第一原子力発電所の事故による工業製品等の風評被害対策として、被災地域の事業者のニーズを反映したものである。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	福島復興再生基本方針において、工業品の測定体制強化のために機器の整備を行うとともに検査に係る技術指導等の措置を国が責任を持って講じるとしており、国の施策として実施する事業である。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	同上により、政策体系の中で優先度の高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	一般競争入札により委託先を選定している。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	委託先選定後、コスト水準の妥当性についてチェックを行っている。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	委託先選定後、費目・使途の必要性についてチェックを行っている。	
	利用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	契約額が予算額を下回ったこと及び効率的な執行のため。	
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		○	定期的に測定実績の報告を受け、効率的な執行に努めている。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	コンスタントに依頼を受けており、十分な成果を収めている。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	風評被害対策である本事業の活動実績は見込みを下回ったが、依然として風評は残っており、本事業の有効性からコンスタントに依頼を受けている。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	整備した機器等は有効に活用されている。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)				
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果	・福島復興再生基本方針、及び東日本大震災からの復興の基本方針に沿った事業として実施。 ・補助事業者から定期的に活動実績の報告を受け効率的な執行に努めた。			
	改善の方向性	企業に対する情報提供のあり方を踏まえつつ、引き続き効率的な事業執行を図っていく。			
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
備考					
平成24年度活動実績及び単位当たりコストについては、平成23年度一般会計第3次補正予算で措置され、平成24年度に繰越実施した数値を記載。					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	103-3
平成25年度	146	平成26年度	171		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補
足する)
(単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	専門家による放射線量測定等に関する指導・助言	16			
事業費	専門家の活動旅費、普及啓発媒体の印刷製本費等	7			
一般管理費		1			
計		24	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(一財)材料科学技術振興財団	放射線量測定の指導や助言	24	2	-